

12月に入り、朝夕冷え込むようになりました。あっという間に年末を迎えることになりました。いろいろな行事を経験する中で、子どもたちは大きく成長をした一年だったのではないのでしょうか。よい一年の締めくくりと、新しい年を子どもらしい夢と希望をもって迎えてほしいと思います。

年末年始を含め生活リズムが崩れやすい時期ですが、いつも通りの規則正しい生活を心がけてお過ごしください。

### 三学期 今後の予定について（天神小）

- 二学期 指導終了 : 12/17（月）
- 個人面談 : 12/17（月）午後
- 三学期 指導開始 : 1/21（月）
- 個人面談 : 3/18（月）

なお、詳しい日時については今後、個々に別紙にてお知らせしていく予定です。

### 来年度のまなびの教室の利用について

指導期間は、原則として指導を開始した日からその年の年度末になっています。指導継続については改めて利用申込をしていただくことになります。継続または利用終了については、在籍校の先生とよく相談してください。継続される方は、利用申込票を12月17日（月）までに在籍校へご提出ください。

### << お手伝いは最高のコミュニケーション >>

年末年始はどのようにすごされますか？クリスマスにお正月、冬休みなど子ども達は楽しみばかり。特別な行事や雰囲気苦手な子どももいると思います。家にいる時間が長くなった子どもたちとコミュニケーションをとる最高の方法はお手伝いです。「そこにあるものにとって」と言って、とってもらっただけでコミュニケーションになります。

例えば、母「〇ちゃん、こっちに来て」

子 母親に気づく。何か言われることを期待して母親に近づく。

母「この新聞、お父さんに渡してきて」

子 誰に何を渡すのかを理解する。「はい」父親に新聞を渡す。

父「ありがとう」

たった一つの簡単なお手伝いに以下にあげたたくさんの働きが含まれています。

#### < 他者意識・指示理解・注意・遂行能力 >

ですから、お手伝いがうまくいかないときはこの働きのどれかがうまくいかないのです。母親の言っている事にそもそも興味を示さないと指示を聞いて、行動には向かわないでしょう。そういう時は新聞を手渡しして、すぐ近くにいる父親に渡してもらおうというように、ハードルを下げます。

お手伝いをした後に重要なことは、褒める事です。どんな些細な事でも褒める事で、子どもは「これで、良かった。この行動で良かったんだ。」と自信がつかます。そして、次もお手伝いをしようと思います。冬休みの生活の中で、お手伝いを通して、子どもたちとコミュニケーションをとってみてはいかがでしょうか。

